

4 説明会で皆様から寄せられたご質問やご意見

説明会に参加された方から寄せられたご質問やご意見の一部と、それに対する回答をまとめました。(この他にいただいたご質問等は土木事務所ホームページに掲載する予定です。)

- Q1** 伊豆山復興計画検討委員会でまちづくりを検討している段階でなぜこのような絵(河川計画)がでてくるのか教えてください。
- A1** 住民の方がこの土地に戻るためには、治水上の安全をまず最初に確保する必要があります。まちづくり計画が決まってから川を復旧するというのではなく、今の段階から皆様の意見を聞き、少しでも早く川を復旧したいというのが私達の思いです。
- Q2** 国が行っている砂防堰堤の工事の目的が立たないと、河川工事は行わないのですか。
- A2** 県では、源頭部より下で作業する人や通行車両の安全を確保するため、源頭部を常時監視していますので、砂防堰堤の工事の進捗に関わらず、河川工事を進めることができます。

お詫びとお知らせ

参加住民の方から、市道計画について多数のご質問・ご意見が寄せられましたが、市は、説明会当日、十分な回答ができませんでした。県から市に対して、住民の方への回答を求め、市から回答が届きましたので、皆様にご報告いたします。

住民の方からのご質問・ご意見	熱海市の回答
市道伊豆山神社線との接続はどうなるのか。案でもいいから示してほしい。(多くの方から同主旨の質問あり)	岸谷本線と伊豆山神社線との接続を望む声は強いと認識しています。現在、安全な道路勾配等について検討し、5月中の案の提示を目標に設計に取り掛かっています。
河川の両岸に道路は必要なのか。伊豆山神社線からの接続ができたとすれば、市道岸谷本線とあわせ3本の道路となる。伊豆山神社線へ接続しないなら、なおさらここまで広い道は不要。(後略)	逢初川の両岸に検討している道路(4m)は、復興に向けて再建築等を行う上で必要不可欠であり、伊豆山神社線への接続も生活利便性等を考えると重要であります。(後略)
できるだけ早く市道計画を説明してほしい。	5月頃を目途に説明の機会を設けたいと考えています。
第2の盛土は危険な状況であり、この土砂を何とかしてほしいと何度も伝えた。源頭部にも約2万㎡の土砂が残っている。まずこれをどかすのが先ではないか。この計画を説明する前に、残っている土砂を何とかするのが先だと考えている。この計画について、伊豆山をより良くしようというものなら協力するが、そもそも論を避けているようであれば反対するしかない。	源頭部の不安定土砂(落ち残っている盛土約20,000㎡)については(中略)、前土地所有者に行政指導文書を発出するとともに、従わない場合は、6月までに県と市において排水対策をすることとしております。その後、行政代執行も視野に入れ、不安定土砂の撤去工事を行う予定です。第2の盛土については、各種法令に照らし合わせ、静岡県と市により、指導を行っているところです。

※紙面の都合上、主なものを抜粋して記載しています。この他にいただいたご質問・ご意見に対する回答は、4月15日に市から皆様にご文書で郵送します。

もっと詳しく知りたいときは・・・

逢初川の復旧に関するご意見、ご質問は、以下のお問合せ先までお気軽にお問合せください。なお、その他の詳しい資料は、熱海土木事務所ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

<お問合せ先>

静岡県熱海土木事務所 伊豆山地区復興支援課・企画検査課
〒413-0016 熱海市水口町13番15号
TEL 0557-35-9267 / 0557-82-9171
FAX 0557-82-9110



公式HP



ツイッター

逢初川だより

第5号
令和4年4月

～静岡県は、一日も早い復旧、復興を目指し、全力で逢初川の工事等を進めます～

静岡県熱海土木事務所 広報誌

逢初川河川計画と市道計画に関する説明会を開催しました。

今回の土石流災害によりお亡くなりになられました方々の御冥福を心よりお祈りするとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

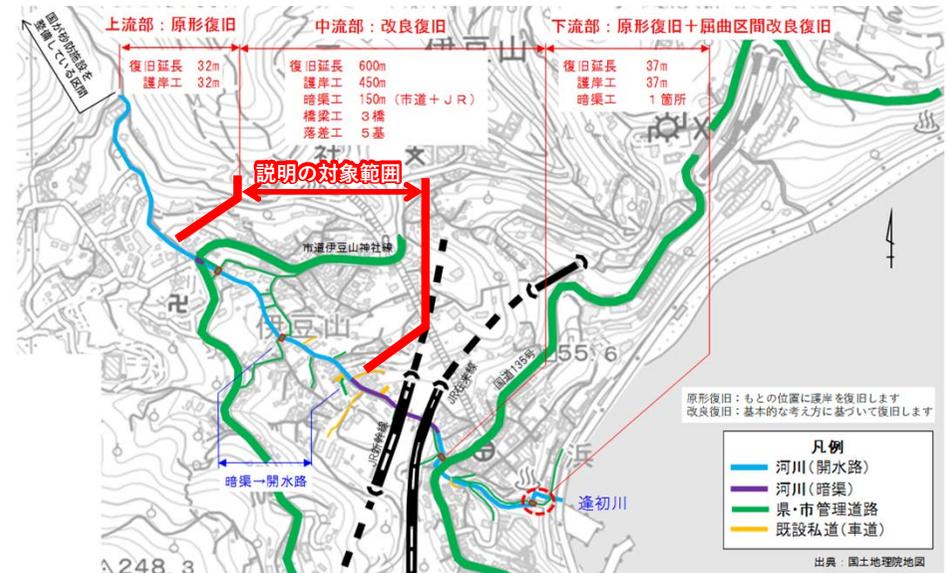
今なお1名の行方不明者の方の捜索が行われている最中であり、大変心苦しい気持ちでございますが、熱海土木事務所では、被災した地区の治水上の安全を確保するため、逢初川の復旧に取り組んでおります。

この取組のひとつとして、逢初川の中流部の河川を改良復旧する計画を進めてきました。この度、設計が概ね出来上がりましたので、計画内容を地域の皆様にご説明させていただくため、岸谷の町内の皆様を中心に説明会を開催しました。

ご出席できなかった方や周辺地区の皆様へ、説明会の概要をお知らせするチラシを作成しましたので、ご覧いただければ幸いです。

1 説明会の概要

	岸谷町内にお住まいの方で、現在は避難されている方	岸谷町内にお住いの方
(1)開催日時	令和4年3月27日(日) 午前10時～11時10分 午後1時～2時30分	令和4年3月28日(月) 午後7時～8時20分
(2)開催場所	岸谷会館(伊豆山339-1)	
(3)参加人数	75人(午前・午後の合計)	24人
(4)主な説明内容	逢初川の中流部における、逢初川の河川改良と逢初川沿いの市道の計画内容及びスケジュールについて	

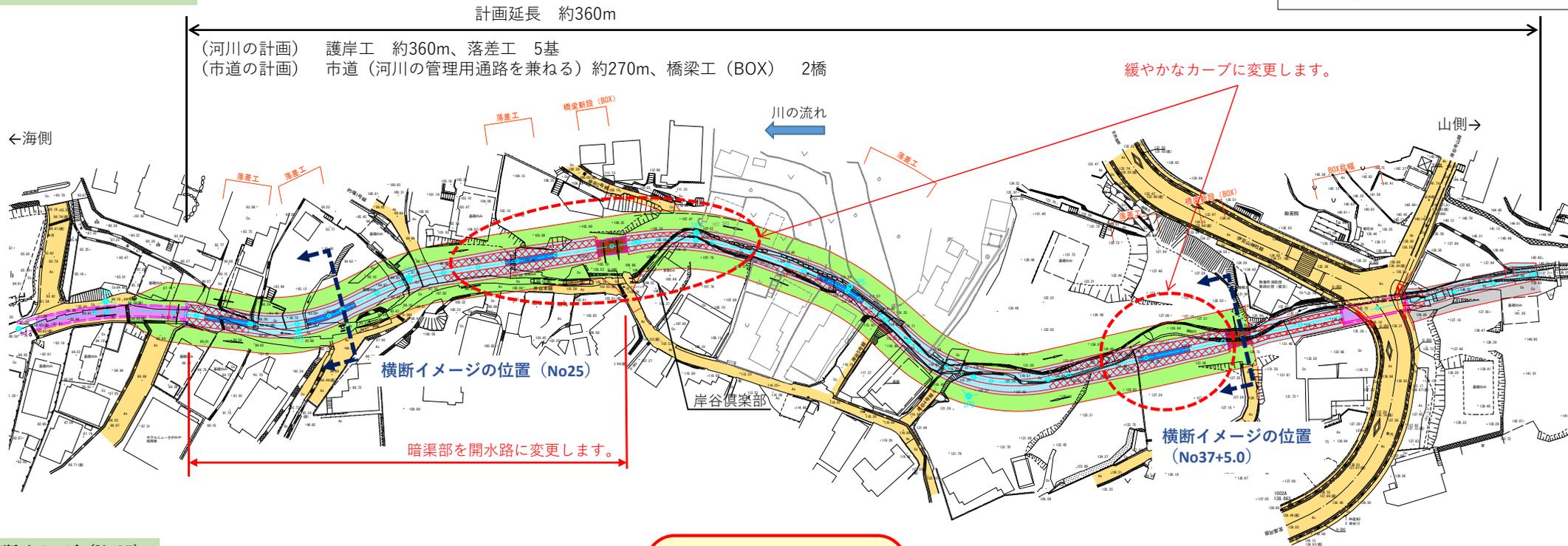


2 河川の改良復旧の計画概要

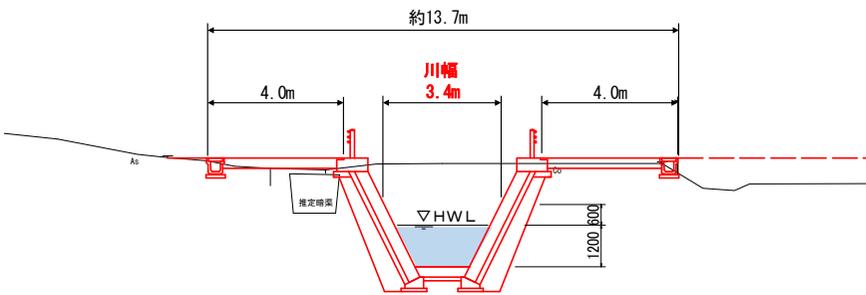
表紙の図の「説明の対象範囲」を拡大すると、下の図ようになります。

	開水路河道		市道（管理用通路兼用）
	暗渠河道		管理用通路
	落差工		新規橋梁（BOX）

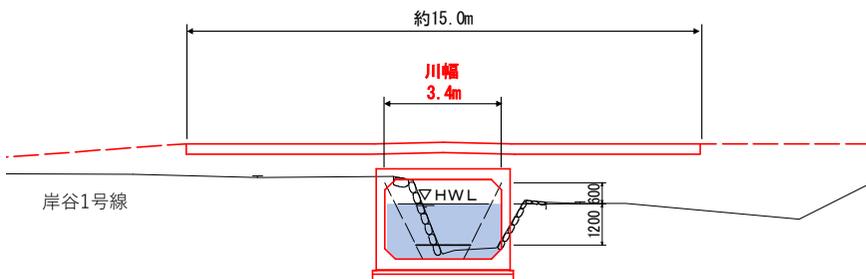
平面図



横断イメージ (No25)



横断イメージ (No37+5.0)



開水路区間のイメージ写真



令和4年4月～ 用地交渉

- ・地権者の方ごとに御説明します
- ・補償内容に御納得いただいた方と契約を締結させていただきます

令和4年夏頃 工事着手

- ・可能なところから、工事に着手します

3 今後のスケジュール

地元説明	・河川／市道の復旧計画について御説明（第1回 10月9日）
現地測量	・復旧の基本的な考え方をもとに詳細な現地測量・設計を行います。設計は、地元の皆様の御意見を確認しながら進めます。
用地境界立会	・地権者の方に土地の境界を御確認していただきます。
地元説明	・河川／市道の復旧計画について御説明（第2回 3月27日、28日）
用地調査 補償額の提示	・御提供いただきたい土地の面積を測量し、補償させていただく土地及び物件の金額を提示します。
補償にかかる 協議契約締結	・地権者の方ごとに御説明します。補償内容に御納得いただいた方と契約を締結させていただきます。
復旧工事着手	・可能なところから工事に着手します。

今回説明